



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第77号

2009年8月

発行：CTF松阪

障害者の方のための 夏季パソコン講座開催

CTF 松阪では、平成 17 年から毎年この時期に開催してきた夏季パソコン講座を今年も開催することになりました。

今年は、障害者の方対象に 2 コース、サポート従事者の方対象に 1 コースを計画しました。

日程など概要は次のとおりですので、多数のご参加申し込みをお待ちしております。

開催日：来年のカレンダーを作ろう 8月3日、10日、17日、24日
 ワードの小技・裏わざ 9月7日、14日、28日
 サポート従事者スキルアップ 10月6日、20日、27日

開催時刻：各コースとも午前9時30分から12時まで

会場：松阪市障害者福祉センター（松阪市殿町 1563 番地）

費用：教材費として、8月コース 1000 円程度、

9月・10月コース各 500 円程度

受講資格：松阪市内にお住まいの方で、会場までの往復が可能な方

お申込先：松阪市障害者福祉センターまたは CTF 松阪



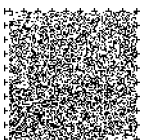
御城番屋敷について

1989 年版のゼンリンの地図を見ると、工業高校側から城跡の方を見て数を数えたら戸数が向かって左側が 9 戸あり、右側が 11 戸ありました。その後、私が散歩の時に何戸あるか数えましたら、左側が 10 戸、右側が 11 戸ありました。

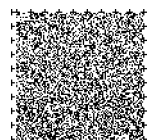
只今は昨年初冬からの改修工事が始まり、工事中ですが左側を何度も数えてもやはり 9 戸です。一時、長屋でするので雨漏修理もままならない状態でしたから道路に面した門口だけ一箇所作って、そこから出入りしていたのかと考えました。

先日、古い住人に伺いましたら長屋の所有者の苗秀社の事務所を二軒の間を仕切って使っていたため出入口が一箇所ふえていたそうです。左側が一軒減った理由は裏側への出入口通路用（現在の駐車場用地）に削減したとの事でした。

何分長年月の間、何も手入れしてなかったというよりも重要文化財ですので簡単には工事が出来なかったためでしょう。今回の改修工事は屋根瓦の交換（一部）、壁の塗り替えなど下から上までの大工事ですので今年度中掛かるらしいです。来年度以降は向かって右側の棟の改修工事となる見込みらしいです。



今月号は文字数が多いので、第 1 ページと第 2 ページに SP コードを 2 個ずつ付けてあります。第 1 ページと第 2 ページでは、先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。





強力な電卓にもなります

名前を表示するだけでは面白くない！ 前回のプログラムで名前の代わりに数式を書き込むと Web ブラウザのアドレスバーが電卓に早変わりするのです。

皆さんもご存じの通り Windows にも標準で電卓が付いています。アドレスバーを使った電卓は Windows 標準の電卓と比べると、非常に優れた長所を 1 つ備えています。入力ミスが生じたときに間違った文字だけを訂正して簡単に再計算できるというのがそれです。

例えば、交通費 4500 円、昼食代 6350 円、入館料 3500 円、缶コーヒー 1350 円を使いました。これを 5 人で割り勘にするといくらになるでしょうか？

電卓で計算する場合ならボタンを以下の順に押していくことになります。

4500+6350+3500+1350/5=

もし 3500 を押しているときに 6350 を「6530」などと押し間違えたことに気づいたとしても訂正はできません。クリアして最初から押し直すしかありません。

ではプログラムで計算させるとどうなるでしょう？ アドレスバーに入力する文字列は以下のようになります。

javascript:alert((4500+6350+3500+1350)/5);

Enter を押すと計算結果のウィンドウが開きます(図 2)。電卓を操作する場合に比べ、入力する文字数はかなり多くなっています。

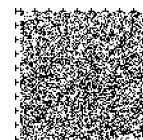
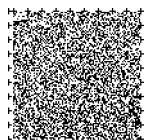
しかし電卓と違ってミスを訂正するのは容易です。3500 と入力しているときに 6350 を書き間違えたことに気づいたら、←キーを押して点滅するキャレットを戻して打ち直せばよいわけです。計算式が長いときにこれができるのととても便利です。それだけではありません。計算結果を見た後で間違いを訂正することだってできるのです。←キーで戻して数式を書き直して Enter キーを押せば、アドレスバーから数式が消えない限り何回でも訂正できます。

まだまだ長所はあります。電卓は過去にどのようなボタンを押したかをどこにも表示してくれませんが、プログラムならアドレスバーから消えない限り履歴が残っています。このため計算結果がおかしいときに、式が正しかったのかどうかを容易にチェックできます。



図 2 ブラウザを電卓代わりにする

つづく



活動報告

【7月】

障害者対象個人向けパソコン講座
(7日、14日、21日、28日)

障害者宅訪問 IT サポート
(8日、23日、29日)



活動予定

【8月】

松阪七夕まつり IT 支援
1日 17:00~20:00
本町小林医院駐車場にて

障害者対象夏季パソコン講座
3日、10日、17日、24日
各 9:30~12:00
松阪市障害者福祉センターにて

障害者対象個人向けパソコン講座
4日、11日、18日、25日
各 9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



まつさか歴史街道

伊勢本街道

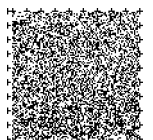
大和の国と伊勢神宮を結ぶ伊勢本街道は榛原（奈良県宇陀市萩原）で初瀬街道と分かれ、津市美杉町杉平で三重県に入り、そこからは現在の国道 368 号線とほぼ同じルートで飯南町上仁柿から松阪市に入り飯南町横野へ、さらに大石町、小片野町、茅原町を通り櫛田川を渡るところで多気町に入り、多気町相可、玉城町田丸を経て伊勢に至る。この間、飯南町横野から小片野町の間は和歌山街道と重複している。

津市から松阪市に入るとすぐに櫃坂（ひつさか）という険しい下り坂があり、また、茅原町から多気町へ入るところの櫛田川の渡し（津留の渡し）も、街道中のこわいところとして『お伊勢参りしてこわいとこどこや、飼坂（かいさか）、櫃坂、鞍取坂、津留の渡しか宮川か』と道中歌に歌われた難所であった。

（写真は、難所と恐れられた櫃坂）



次号につづく



怖い事と楽しい事

M. Y

先日来の豪雨の恐ろしさをテレビで見ると、一人暮らしのため今後来るであろう台風が心配ですが近くに山や川がないのがせめてもの救いです。

私が生まれてから南紀の方の地震や太平洋戦争や伊勢湾台風がありました。地震や戦争はまだ3～4歳の時のことで全然記憶もなく、伊勢湾台風の時はその年は東京にいて恐さ知らずに済みました。がまだ暫くこの世でお世話になる間も、うまく怖いことから逃れられたら良いなあと思い乍ら毎日を幸せに過ごさせて頂いておりますが、10歳の時海で溺れかけた事があって今も水は怖いです。

楽しい事は、私は子供の時から物好きな性格が災いして、人様がなさる事はすべて経験しましたが、やった事がないのは水泳と警察にお世話になるような事だけですが、今はCTFで初めて教えて頂いたパソコンの楽しさを知りましたので、せめてこれだけは上辺だけ経験するのではなく、もうすこし奥の方までやらせてもらいたいと思っておりますので、今後とも楽しい時間をくださるようお願いいたします。



編集後記

今年は梅雨明けが遅く、雨傘と汗ふきタオルが手放せませんね。

早くカラッとしたお天気になってほしいですね。



CTF 通信第 77 号

2009 年（平成 21 年）8 月発行
発行者 IT を活用した障害者支援 NPO 法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081
松阪市本町 2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://ctf.dip.jp/>

